

事務事業名	社会福祉会館 (福祉センター) 管理運営事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5087	
			所属課室	介護福祉課		課長名	清水文秀	
	☐ 実施計画事業		所属担当	高齢者福祉担当		担当者名	坂場 徹	
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	01	03
施策	29	高齢者福祉の充実						
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	地方自治法第244条の2				
	☒ 期間限定複数年度 (H23 ~ H27 年度)							
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 高齢者の生きがい活動及び福祉サービスなどを実施することにより、市民の健康と福祉の増進に資するとともに、地域の公民館としての役割も担っている南アルプス市福祉センターの施設管理を社会福祉協議会へ5年間委託する。			事業費の主な内訳 (22年度)				
				項目 (細節)	金額 (千円)	項目 (細節)	金額 (千円)	
				施設維持管理委託	4,667			
				修繕料	221			
			計	4,888				

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	高齢者の生きがい活動及び地域コミュニケーションの拠点施設としての管理運営の委託
22年度活動実績	同上
23年度活動予定	
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	市民のコミュニケーションと高齢者の健康増進
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	高齢者福祉の充実

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	施設数	箇所
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	市民数	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	利用者数	人
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒		

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	5,044	4,888	4,717	5,063	5,063	5,063	
	事業費計 (A)			千円	5,044	4,888	4,717	5,063	5,063	5,063	0
	人件費	正規職員従事人数			人						
		延べ業務時間			時間						
		人件費計 (B)			千円	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)			千円	5,044	4,888	4,717	5,063	5,063	5,063
活動指標		アイウ	箇所		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標		アイウ	人			73,014.0	72,854.0				
成果指標		アイウ	人			12,013.0	12,000.0				
上位成果指標		アイ									

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	櫛形地区中央公民館を合併時に庁舎として利用することから、地域の公民館的施設の代替施設としても取り扱われている
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	高齢者数は増加している
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	23年度から新たに指定管理施設として管理を委託
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	社会福祉会館（福祉センター）管理運営事業	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない（見直し余地がある）⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 高齢者の生きがい活動に利用されている施設の管理委託事業
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 既に指定管理委託がなされている
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 施設利用と介護予防の検証は必要だが、施設の管理委託は現状でよい
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 地域のコミュニティの場としても活用されている
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 公民館として活用している ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 公民館として活用している
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費（コスト）を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 介護予防事業を行っている施設だが、入浴施設の活用の検討をしコストの見直しを図る。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？（事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？）	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 本事業自体の人件費は契約にともなう事務のみである
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 各地区で行われている高齢者の生きがい活動に利用されている施設であり公平である

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括（事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について）
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	介護予防事業に利用されている施設だが、指定管理先の事務所としても利用され、地域の公民館的な性質も兼ねている。 施設も老朽化が進み維持補修費も毎年支出されている。 指定管理契約が満了する平成27年度までに、施設の方向性を明確にしておくことが必要。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について ①夜間利用時の管理体制の検討 ② ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①地域の公民館的な機能を他施設に移管できることが前提 ② ③		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑨</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑥</td></tr></table>		成果優先度評価結果	⑨	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑨																							
コスト削減優先度評価結果	⑥																							